

総評

数学がたいへん難しく、英語も難しめで、5教科合計の平均点も低くなりました。

入試や道コンのような総合問題は、学校の定期テストにくらべて出題範囲が広いので、難しく感じる人が多いかもしれませんが、問われているのは基本的な内容が中心です。攻略するには、基礎・基本の定着と、場面に応じて知識や技術を活用する訓練とが欠かせません。これからは、実践的な問題にも少しずつ取り組んで、活用する力をつけていきましょう。

入試問題の半分以上は、1・2年の学習内容で解くことのできる問題ですから、この範囲を復習し、定着させておくことはたいへん重要です。夏休みまでに1・2年内容の復習をすませておけば、スムーズに受験勉強を始めることができますよ！

国語

標準的な出題でした。

㊦は、漢字の読み「赴く」と書き「補修」の得点率が低くなりました。「補」のへんを「ネ」にしているものや「修」の「彡」の向きを反対にしているものが散見されました。問五の実用文はよくできています。㊦は全体によくできています。問四は、「信夫の行動」と「智美がどのように受け止めたか」の両方を書くことに注意しましょう。㊦は、問一の品詞の識別が難しかったようです。今まで習った文法を復習しておきましょう。記述問題では、問題文をよく読み、文末の形(「～点」「～から」など)や必要な要件を見極めて、過不足なくまとめましょう。㊦は、問一のかなづかいはよくできていますが、問二、問三は難しかったようです。省略された主語や助詞を補いながら、もう一度読んでみましょう。

数学

方程式の利用がたいへん難しく、図形の問題も難易度が高く、平均点はたいへん低くなりました。得点が伸びなかった人も、入試に向けての目標ととらえて、今後の学習に生かしていただければと思います。

①では、相対度数の求め方や、式の値の求め方での取りこぼしが目立ちました。資料の活用は入試でも必ず出題される重要単元ですから、用語を含めてしっかりおさえましょう。②の問1は必ずできるようにしたい内容です。「点Qの動いた道のり」を正しく表すことができれば正答に近づきます。あきらめずに復習してください。③は、まずは問1、問2をしっかりおさえましょう。⑤問1の作図は、線分BDの垂直二等分線をかいた答案が目立ちました。「点Bが点Dと重なるように折る」場合との区別が必要です。紙を折って試してみてください。

社会

やや難しい出題でした。

地理分野・歴史分野ともに、記述問題では、問題の指示に従わず問われたことを答えていない解答や、指定語句を使っていない解答が目立ちました。記述問題は、問題文をよく読んで、何を問われているのかを確認してから解答を書くように心がけましょう。

地理分野では、②問5の資料を読み取る問題の得点率が低くなりました。読み取り問題では、選択肢と資料の数値をていねいに確認するようにしましょう。

歴史分野では、⑥問6の年代並べかえ問題の得点率が低くなりました。1つ1つのできごとを詳しく理解するのは重要ですが、歴史の大きな流れを捉えることも大切なことです。今のうちに復習し、これまで学習したことをしっかり身につけておきましょう。

理科

標準的な出題でした。

①はどれも基本的な内容が多く出題されました。間違えたところだけでなく、悩んだところ、自身がなかったところもしっかりと復習し、次は確実に正解できるようにしておきましょう。

③～⑤は、1年の学習内容だったこともあるのか、一部の問題を除いて、あまり得点がのびませんでした。特に、計算問題を間違えた人が多かったようです。

得点をあげていくには、暗記などの知識問題だけではなく、計算問題や、結果から考察する問題などでも得点を重ねられるようになる必要があります。始めは難しく感じられるかもしれませんが、実践的な演習を繰り返し重ねることで対応力が身につき、十分な得点の上昇を見こむことができます。

英語

やや難しい出題となりました。リスニングの問3であまり得点が伸びなかったほか、②では中1で学習した文法での取りこぼしが見られました。今後は、文法の基礎固めに早めに取り組み、入試問題の形式や出題に慣れるために類似問題の演習を意識的に行っていきましょう。また、リスニングも近年難しくなっていますので、忘れずに対策をしていきましょう。

③問4は得点率が非常に低くなりました。とくに、Aの生徒数で間違えてしまった人が多かったようです。与えられた英文をよく読まずに、threeやeightを書いてしまった人もいたかもしれません。問題文は最後までしっかり読むように心がけましょう。④問2も得点率が低くなりました。動名詞が主語になるという文の構造を把握できたか、確認してみてください。